

つかむ

調べる

まとめる

深める

～情報の伝達と影響について学習の見通しがもてる活動～

1. 小単元名『情報を伝える人々』

(教科書：『小学社会 5下』 p.4～11／学習指導要領：内容（4）ア）

2. 小単元の目標

緊急時の情報の伝え方やニュース番組づくりを例に、情報産業やメディアの役割について調べ、情報が自分たちの生活に大きな影響を及ぼしていることを捉えさせる。

3. 小単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・資料活用の 技能	社会的事象についての 知識・理解
大切な情報が多くの 人にすばやく届けられ る仕組みについて興味 をもち、学習問題をつ くって意欲的に調べよ うとしている。	情報を広く伝えるマ スメディアの役割につ いて調べたことをもと に、マスメディアの情報 発信における影響の大 きさや責任について考 え、適切に表現してい る。	教科書の写真や図か ら、様々なメディアを通 じた情報の発信の様子 について正確に読み取 っている。	情報を伝える人々の工 夫や努力、情報を伝える 際に気をつけていること などを理解している。ま た、様々なメディアの特 色を理解し、状況や手に 入れたい情報に応じてメ ディアを使い分けること の必要性を捉えている。

4. 指導にあたって

(1) 教材について

本小単元では、情報化の進展に伴い、私たちの日常生活は非常に多くの情報に囲まれ、それらの情報によって生活が支えられていることを捉えさせる。その手がかりとして、広く情報を発信する情報産業に携わる人々の仕事を扱う。放送局で働く人々は、情報とどのように向き合い、何を大切にしているのかについて着目させる。情報を鵜呑みにせず、発信者の意図なども考えながら受け取る姿勢も養っていききたい。

(2) 指導上の工夫・留意点

放送局などの情報産業に携わる人々が、正確な情報を迅速に伝える工夫や努力をしていることで、自分たちは知りたい情報を必要なときに入手できていることに気づかせる。それと同時に、情報はあくまでも誰かが編集し発信しているものだという意識をもたせるために、同じ出来事でも違った伝わり方になることを、同じ日の各社新聞記事を見比べる活動などを通して捉えさせたい。

正確かつ迅速な情報の重要性を特に強く感じるのは、災害発生時など緊急の場合である。そこで本時では、緊急地震速報の仕組みや、東日本大震災の被災地における情報伝達・活用の事例を調べることで、情報の果たす役割を具体的に捉えられるようにする。

5. 小単元の指導（総時数 4 時間）

時数	ねらい	○学習活動
① （つかむ）	緊急地震速報が届く仕組みなどを調べることを通して、大事な情報がどのように人々に伝えられ、生活に影響を及ぼしているかについて、学習問題をつくることができるようにする。	○緊急地震速報のような大切な情報が届けられる仕組みを調べ、情報を伝える人々のはたらきや情報が生活に及ぼす影響について、学習問題をつくる。
① （調べる）	テレビのニュース番組が放送されるまでの様子を調べ、情報を伝える放送局のはたらきについて捉えることができるようにする。	○テレビのニュース番組がどのようにつくられて放送されているのか、資料を読み取って調べ、わかったことを話し合っまとめる。
① （調べる）	震災時に人々がどのような手段で情報を入手していたのかを調べ、様々なメディアの特色や、それらを使い分けて情報を手に入れ、役立てることの必要性を捉えることができるようにする。	○東日本大震災の時に役に立ったメディアに関する資料などをもとに、自分たちが日頃、様々なメディアから情報を手に入れていることを調べ、その特色や活用の仕方について話し合う。
① （まとめる）	放送局や新聞社で働く人たちが様々な注意を払って情報を発信していることなどを調べ、マスメディアの情報と自分たちの生活との関わりについて考えることができるようにする。	○マスメディアが伝える情報の違いや影響について調べ、マスメディアが発信する情報と自分たちの生活との関わりについて話し合い、考えをまとめる。

6. 本時の指導（第 1 / 4 時）

（1）本時のねらい

緊急地震速報が届く仕組みなどを調べることを通して、大事な情報がどのように人々に伝えられ、生活に影響を及ぼしているかについて、学習問題をつくることができるようにする。

（2）本時における考え合い表現し合う活動と指導の留意点

本時では、写真資料 **イ**「地震で電車が止まった駅で、ニュースに注目する人々」から考えたことを友達と話し合う活動を取り入れ、表現し合えるようにしていく。話し合う際、二つの観点を示す。一つは「緊急時にはどのような情報を手に入れたいか」、もう一つは「なぜ情報を手に入れるのか」である。二つの観点を話し合わせることで、緊急時の情報がいかに大切であるか、また様々な方法で様々な情報を人々が必死で入手していることに気づかせたい。写真資料の中のテレビ画面の情報や人々の視線、情報を入手しようとしている手段などについても着目させるため、十分な話し合いの時間を確保する。資料 **イ** をもとに話し合った内容から、緊急時には正確かつ迅速に情報を伝えることが大切であることを理解できるようにする。大事な情報を入手することで、私たちの行動が変わり、影響が及ぼされることをおさえてから、学習問題をつくるようにする。また、**エ** の資料を用いて、新聞やインターネットなども多くの人が情報を入手するためのツールであることをおさえ、テレビ以外の情報伝達手段にも着目させる。緊急時の情報の伝達方法、生活経験などから考えた予想をもとに学習計画をつくり、単元全体の学習を見通し、児童の興味・関心の持続を図る。

(3) 本時の展開

時配	○学習活動 T:発問 C:児童の反応	◎資料 ◇留意点 ◆評価
5	<p>○本時の課題を確認し、課題に対して予想をする。 T:(緊急地震速報の音を再生して) この音が鳴ったら、みんなはどのような行動をとりますか? C:机に隠れる。高いところに逃げる。 T:この情報を手に入れるために何が使えますか? C:テレビ。携帯電話。パソコン。 T:このような大切な情報は、みなさんのもとにどのように届いているのでしょうか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>課題 わたしたちは、大切な情報をどのようにして手に入れているのだろう。</p> </div>	<p>◎緊急地震速報の音 ◇生活経験を引き出したり、災害時の状況を想定したりしやすくなるように、具体的な資料を提示する。 ◇どのような方法で情報を手に入れているのかを考えさせる。</p>
10	<p>○資料ウから速報が伝達される仕組みを話し合う。 T:地震を感知してから、私たちがいち早く大切な情報を手に入れるためには、何をすればよいでしょうか? C:携帯電話やテレビを使えばいいと思う。 T:携帯電話やテレビには、どのようにして緊急地震速報が伝えられているのでしょうか。資料ウを見てみましょう。 C:気象庁から放送局などを経て、様々な方法で私たちのもとに情報が届けられているんだね。 T:情報を発信している人の気持ちを、「放送局の長田さんの話」から読み取りましょう。 C:長田さんは、津波が来る前に情報を届けることで、すばやく安全な場所に避難し、身を守ってほしいと思っているんだね。 T:長田さんはどのような願いをもって、情報を発信しているのだろう? T:人々の安全確保を第一に考えている。だから、すばやく情報を伝達しようとしているんだね。</p>	<p>◎ア携帯電話に送られてくる緊急地震速報(教科書5下p.4) ◎ウ緊急地震速報がとどくまで(同p.5) ◇地震の発生から緊急地震速報が届くまでは、ほんの数秒であることをおさえる。 ◎放送局の長田さんの話(同p.5) ◇教師が読み上げる。わかったことに線を引きながら聞くよう指示する。 ◇放送局員の第一の願いは、視聴者の安全確保であり、そのために迅速に情報を伝えようとしていることをおさえる。 ◇情報が伝わることで、人々の行動が変わってくることに気づかせる。 ◇地震の仕組みについて簡単に説明する。</p>
10	<p>○資料イから、災害時に人々がどんな情報を得ようとしているか話し合う。 T:資料イは、地震の情報が駅のテレビで放送されているところの写真です。</p>	<p>◎イ地震で電車が止まった駅で、ニュースに注目する人々(同p.4)</p>



T: 緊急地震速報の他に、駅にいる多くの人々はどのような情報を手に入れたと思っているのでしょうか。また、なぜそのような情報を手に入れたのでしょうか。

C: (手に入れた情報)

→地震の大きさ/津波の範囲/電車が動き出す時間/家族の安否/電車以外の移動手段/地震発生場所

(手に入れた理由)

→安心したいから/安全が確保できるから/適切な行動をとるため

10 ○資料⑤を読み取り、学習問題をつくる。

テレビ	100人当たり 92人
新聞・雑誌	100人当たり 60人
インターネット	100人当たり 57人
ラジオ	100人当たり 25人

T: 大切な情報を手に入れるため、様々な手段を使うことができますが、何がいちばん使われているのでしょうか。

C: 新聞や雑誌、インターネットやラジオからも、情報を手に入れているね。その中でも、テレビがいちばん多いようだね。

T: これから、何について具体的に調べていきたいですか？みんなで学習問題をつくりましょう。

C: 普段のニュースはどのようにして届けられているのかな。

C: 新聞の情報の伝え方はどうなっているのかな。

学習問題

多くの人々が利用する情報は、どのように伝えられ、わたしたちの暮らしにどのような影響を与えているのだろう。

◇④を本時の中心資料として用い、写真の中のテレビ画面や人々の視線、通信手段に着目できるようにする。

◇資料の読み取りを充分に行えるよう、話し合いの時間を確保する。

◇緊急地震速報や津波警報を実際に見聞きした経験と合わせて、その内容や重要性を捉えさせる。

◎⑤国内のニュースを何から得ているか (同 p.5)

◇テレビだけでなく、新聞など他の情報伝達手段についても関心が向くよう、資料を提示する。

◇様々な方法で情報は伝達されていることに気づかせる。

◇マスメディアの情報が多くの人々の生活に影響を及ぼすことについて、テレビ視聴率を具体的な人数に変換するなど、わかりやすい例を提示して意識づける。

◆テレビや新聞などで伝えられる情報が、自分たちの生活に与える影響について、調べる学習問題を考え、表現している。

(思・判・表/ノート)

10 ○これからの活動に見通しをもつ。

T: 放送委員の人たちは、どのようにテレビ放送をしていますか？

C: 事前にビデオを撮っておきます。

C: 読むセリフを編集しています。

T: 実際のテレビでは、どのように情報を伝えているのでしょうか。次回から調べていきましょう。

◇テレビから情報を得る人が多いことを資料⑤から読み取り、テレビでの情報伝達の様子について調べていくことを確認する。